

いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和四年 九月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園ヒストリー】⑳

《矢野誠一》 その2 琴弾カフェの入り口手前にあるブロンズ像は観音寺市出身の矢野誠一氏の作品です。学生時代に両親を失い苦学して彫刻研究を続け昭和四年の帝展(帝国美術院展覧会)第十回展審査員に

推挙されましたがこの時には歩行に杖が必要となる程の病魔に冒されていました。その為高さのある像の作品製作はできなく



中央公民館前「裸婦」
矢野誠一作

なりましたが、座像など高さの無い物を作り続けました。しかし審査員に選ばれた年の十二月に四十四歳の若さで亡くなりました。誠一の才能を知る人々は口を揃えて長生きをしていたら日本の彫刻界はもっと変わったものになっていただろうと彼の早世を心から惜しみました。(長男の矢野健太郎氏は東京工業大学名誉教授になり日本数学界の権威となりました。) 琴弾公園に矢野誠一氏のブロンズ像を寄贈した白川朋吉氏も観音寺市出身で、苦難に負けず出世した偉大な人物です。(つづく)

◆公園清掃日について◆

今月の清掃日は 9月5日 です。

午前八時～九時 (雨天：9月12日)

琴弾公園の池付近に集合
みなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ080-3211-1962

【琴弾公園クイズ】㉑

琴弾八幡宮の境内に松尾芭蕉の句碑があり○○○塚と呼ばれています。次のどれ？

- ① さなえ塚
- ② ささえ塚
- ③ ささげ塚



「輝き隊通信バックナンバー」と検索
または下のQRコードからこの通信
のバックナンバーを見ることができ
ます。また観音寺市のホームページ
からも輝き隊通信は閲覧できます。



寛談 雑永

「徒然草」の作者吉田兼好が親友の頓阿(とんあ)法師に送った歌に「夜も涼し 寝覚めの刈穂

手枕も 真袖も秋に 隔てなき風」

(よもすずし ねざめのかりほ たま

くからも まそでもあきに へだてなき

かぜ) というものがあります。秋を

感じさせる素敵な歌!と想っている

と、実は各句の最初の文字をたどっ

てみれば「よねたまへ(米賜へ)」

となり、次に後ろから最後の文字を

たどると「ぜにもほし(銭も欲

し)」となります。じえじえじえ!!

(古い)それに対し 頓阿法師の返歌

は「夜も憂し 妬(ねた)く我が背子

(せこ) 果ては来ず なほざりにだに

しばし訪ひませ」 同じように読むと

「米は無し」「銭少し」。

何とも粋なお二人

の秋の夜の静かな

会話です。



◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆
私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を
主な目的にしている小さな団体です。歴史的
なものを見直し郷土愛を高め、まちをもっと
元気にしようと頑張っています。